



第31回全国街路事業コンクール

特別賞

山形広域都市計画道路事業

3・2・7号 十日町双葉町線

山形市まちづくり推進部

事業概要

本事業は、新たな道路ネットワークを整備することで、山形駅の交通結節点機能を強化するとともに、周辺道路の渋滞緩和と円滑な道路交通の確保を図るものである。これにより、JR線の新たな横断箇所が開通し、新規バス路線の運行とコミュニティバスの中心市街地への運行が開始され、アクセス向上による東西地区の交流による中心市街地の活性化が図られた。

表彰理由

線路で分断されていた車、歩行者の動線が、駅直近において繋がったことにより、円滑な移動に寄与したことが高く評価された。

積雪の時期にも歩道に雪が積もらないことから、歩行者や沿道利用者にとっても安心できる空間となっている。構造物の目地やトップライトの配置などディテールまで丁寧に作り上げていることや、アンダーパス部の歩道部分は勾配が大きくなりにくく配慮されていることなどから、歩行者にとっても心地良いと感じられる道路であり、好感が得られた。広い道路空間に対して、沿道の土地利用には未だ大きく変化が見られないが、今後の街の変化にも興味を持てる事業である。

事業延長：441m
事業費：約164億円

幅員：30m
事業期間：平成10年度～平成29年度